

科目名		ICT活用1							年度	2025
英語科目名									学期	前期
学科・学年		マンガ・アニメーション科 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		内田 央			教員の実務経験		有	実務経験の職種		映像クリエイター
【科目の目的】										
この科目では、学生が情報社会におけるICTの基本的な活用法を理解し、大規模言語モデル（LLM）を活用する能力を身につけることを目指します。チャットGPTを含むツールを使って、ビジネス文書の作成、アイデア生成、問題解決などのスキルを習得し、実社会で即戦力となる人材へと成長させることを目標とします。										
【科目の概要】										
PCやインターネットの正しい活用法を学び、情報社会での適応能力を養います。										
【到達目標】										
A. 大規模言語モデル（LLM）の基本概念とチャットGPTの基礎知識の習得。 B. プロンプトエンジニアリングの基本技術と応用スキルの修得。 C. ビジネス文書（メール、履歴書等）の作成方法を習得。 D. アイデア生成や問題解決のためのチャットGPTの活用方法を習得。 E. ICTを活用した実践的なコミュニケーションスキルの向上。										
【授業の注意点】										
ICTと大規模言語モデルを活用する上で、正確な情報理解と倫理的な使用が重要です。授業では基本的な操作法だけでなく、それらの技術を社会的、倫理的に適切に使用するための指針も学びます。常に批判的思考を持ち、多角的な視点からのアプローチを心掛けてください。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1					
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力					
到達目標 A	深い理解と高度な知識を示し、応用能力が高い。	基本的な概念をしっかりと理解し、適切に応用できる。	基本的な知識を持ち、一般的な応用ができる。	基本的な概念について理解が足りず、限定的な応用しかできない。	基本的な知識が不足しており、ほとんど応用できない。					
到達目標 B	高度なテクニックを使いこなし、複雑なプロンプトエンジニアリングに成功している。	基本的な技術を確実に理解し、実践的なプロンプトエンジニアリングができる。	基本的な技術を使いこなし、基本的なプロンプトエンジニアリングができる。	技術に不安があり、限定的なプロンプトエンジニアリングしかできない。	技術の理解が不足しており、ほとんどプロンプトエンジニアリングができない。					
到達目標 C	プロフェッショナルなビジネス文書を高品質で作成し、効果的なコミュニケーションができる。	ビジネス文書の基本的な要件を満たし、適切なコミュニケーションができる。	基本的なビジネス文書を作成できるが、改善の余地がある。	ビジネス文書の作成に課題があり、コミュニケーションが不十分。	ビジネス文書の作成において大きな課題があり、コミュニケーションが不適切。					
到達目標 D	高度なアイデア生成と問題解決に成功し、創造性が高い。	アイデア生成と問題解決の基本的なスキルを持ち、有効に活用できる。	アイデア生成と問題解決の基本的なアプローチを理解し、適切に利用できる。	アイデア生成と問題解決に課題があり、限定的な結果しか出せない。	アイデア生成と問題解決において大きな課題があり、効果が不十分。					
到達目標 E	高度なコミュニケーションスキルを持ち、効果的なコミュニケーションができる。	基本的なコミュニケーションスキルを確立し、適切なコミュニケーションができる。	基本的なコミュニケーションスキルを持ち、一般的なコミュニケーションができる。	コミュニケーションに課題があり、限定的な成功しかない。	コミュニケーションスキルにおいて大きな課題があり、効果が不十分。					
【教科書】										

筆記用具、ノート、PC							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】							
作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		ICT活用1				年度	2025
英語表記						学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	LLMの基本概念と活用	LLM（大規模言語モデル）の基本概念を理解し、チャットGPTの基礎知識を習得する。		1. LLMの概要と歴史の紹介	A. LLMの基本概念を理解する。		
				2. チャットGPTの基本操作	B. チャットGPTの基本操作を実行できる。		
				3. プロンプトエンジニアリングの導入	C. プロンプトエンジニアリングの基本技術を理解する。		
2	プロンプトエンジニアリング	プロンプトエンジニアリングの基本技術と応用スキルを習得し、実践的なプロンプトを設計する。		1. プロンプトエンジニアリングの基本原則	A. プロンプトエンジニアリングの基本技術を理解する。		
				2. カスタムプロンプトの設計	B. カスタムプロンプトを設計できる。		
				3. プロンプトエンジニアリングの実践例	C. 実践的なプロンプトエンジニアリングが可能。		
3	ビジネス文書の作成	ビジネス文書（メール、履歴書など）の作成方法を学び、コミュニケーションスキルを向上させる。		1. ビジネス文書の基本要素とフォーマット	A. ビジネス文書の基本要素を理解し、適切なフォーマットで作成できる。		
				2. メールの書き方と効果的なコミュニケーション	B. 効果的なメールの書き方を習得する。		
				3. 履歴書の作成と自己プレゼンテーション	C. 履歴書の作成と自己プレゼンテーションのスキルを向上させる。		
4	アイデア生成	チャットGPTを活用したアイデア生成技術を習得し、創造力を高める。		1. アイデア生成の基本原則	A. アイデア生成の基本原則を理解する。		
				2. チャットGPTを使ったアイデアの具体例	B. チャットGPTを活用した具体的なアイデア生成ができる。		
				3. 創造的なアイデアの発展	C. 創造的なアイデアを発展させるスキルを身につける。		
5	問題解決	チャットGPTを用いて問題解決スキルを向上させ、実践的なシナリオに適用する。		1. 問題解決のプロセスとアプローチ	A. 問題解決の基本的なプロセスを理解する。		
				2. チャットGPTを使った問題解決の方法	B. チャットGPTを活用して問題解決ができる。		
				3. 実践的なシナリオでの問題解決の演習	C. 実践的なシナリオで問題解決スキルを展開できる。		
6	プロジェクト演習	学んだスキルを活用して実践プロジェクトに取り組み、成果を出す。		1. プロジェクトのテーマとスコープの設定	A. プロジェクトのテーマとスコープを設定できる。		
				2. チームでの協力とプロジェクト管理	B. チームで協力し、プロジェクトを管理できる。		
				3. 成果発表とフィードバックの受け入れ	C. 成果を発表し、フィードバックを受け入れるスキルを身につける。		
7	ビジネスコミュニケーション	チャットGPTを用いてビジネスコミュニケーションのスキルを向上させる。		1. ビジネスコミュニケーションの原則	A. ビジネスコミュニケーションの基本原則を理解する。		
				2. チャットGPTを使った効果的なビジネスコミュニケーション	B. チャットGPTを活用して効果的なビジネスコミュニケーションができる。		
				3. コミュニケーションスキルの演習	C. コミュニケーションスキルを実践的に向上させる。		
8	プレゼンテーションスキル	プレゼンテーションスキルを向上させ、プロジェクト成果を効果的に伝える。		1. プレゼンテーションの基本要素と構造	A. プレゼンテーションの基本要素を理解し、効果的な構造を作成できる。		
				2. チャットGPTを使ったプレゼンテーションの準備	B. チャットGPTを活用してプレゼンテーションを準備できる。		
				3. プレゼンテーションの実践演習	C. プレゼンテーションスキルを実践演習で向上させる。		
9	倫理と情報活用	ICTと大規模言語モデルの倫理的な使用について学び、正確な情報活用を強調する。		1. ICTと倫理の基本原則	A. ICTと倫理の基本原則を理解する。		
				2. 情報の正確性と信頼性の重要性	B. 情報の正確性と信頼性を評価できる。		
				3. 倫理的な情報活用の演習	C. 倫理的な情報活用のスキルを実践演習で向上させる。		
10	プロジェクト発表	実践プロジェクトの成果を発表し、フィードバックを受ける。		1. プロジェクト成果の発表とフィードバック受け入れ	A. プロジェクト成果を効果的に発表し、フィードバックを受け入れる。		
				2. プロジェクト成果の改善と修正	B. プロジェクト成果を改善し、修正できる。		
				3. ファイナルプレゼンテーションの準備	C. ファイナルプレゼンテーションの準備を完了する。		
11	チャットGPTの応用	チャットGPTの応用技術を学び、自身のプロジェクトに活用する。		1. チャットGPTの応用技術の紹介	A. チャットGPTの応用技術を理解し、自身のプロジェクトに統合できる。		
				2. プロジェクトへのチャットGPTの統合	B. チャットGPTを実践的なシナリオで活用できる。		
				3. 実践的な応用例と演習	C. 応用例を通じてスキルを向上させる。		
12	イノベーションと発展	イノベーションの概念を理解し、チャットGPTを活用して新しいアイデアを発展させる。		1. イノベーションの基本原則	A. イノベーションプロジェクトを設計し、実行できる。		
				2. チャットGPTを使った新しいアイデアの創造	B. チャットGPTを用いてアイデアを評価し、選択できる。		
				3. イノベーションプロジェクトの発展	C. 成果の最終評価と改善を行う。		

13	イノベーションプロジェクト	チャットGPTを用いてイノベーションプロジェクトを実施し、成果を追求する。	1. イノベーションプロジェクトの設計と実行	A. イノベーションプロジェクトを設計し、実行できる。		
			2. チャットGPTを使ったアイデアの評価	B. チャットGPTを用いてアイデアを評価し、選択できる。		
			3. 成果の最終評価と改善	C. 成果の最終評価と改善を行う。		
14	チャットGPTを使った問題解決のアプローチ	学生にチャットGPTを活用して問題解決のスキルを磨かせる。	チャットGPTを使った問題の定義と分析	チャットGPTを活用して問題を明確に定義し、分析できる。		
			チャットGPTを活用して解決策を生成する方法	チャットGPTを用いて創造的な解決策を提案できる。		
			チャットGPTを用いて意思決定をサポートする	チャットGPTを活用して効果的な意思決定を行える。		
15	AIの倫理と将来への展望	学生にAIの倫理的な使用に関する理解を深め、将来のAI活用の展望を考えさせる。	AIの倫理的な使用と社会への影響	A. AIの倫理的な使用について理解し、倫理的な意思決定ができる。		
			AI倫理の枠組みと規制について	B. AI倫理の枠組みと規制について知識を持つ。		
			将来のAI活用の可能性と課題	C. 将来のAI活用に関する洞察を持ち、展望を語る。		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						